



H e s a k a

■ 結成年月日・昭和22年4月1日 ■ 会員数・600名 ■

戸 坂

心一つに幸福をきづこう



戸坂…坂の多い町ですか、戸坂…何と読みますか、と尋ねる人がよくあります。

私達の戸坂町は、千古の清き流れ太田川を北に眺め、東西に緑の山に囲まれた自然豊かな町です。天水・狐瓜木・千足・惣田等の珍しい地名があり由緒ある町と推察できるでしょう。

昭和三十年代頃までは広島市近郊の農業を営む閑静な村でしたが、昭和四十年頃より急激に団地造成が相次ぎ市のベッタウンとなって人口増加となり、小学校も二校新設、三学区となりました。今の女性会は昭和二十年頃より戸坂婦人会として活動していたようですが、町の変動と発展に伴い女性会も三学区別になり、昭和五十五年から戸坂女性会として九地区から成り今に到っています、会員約六百名という大所帯です。

歴史ある地域だけに引き継が

れる事が多々あり、その一つ社協主催の毎年千数百人が参加して行われる町民盆踊り大会があります。女性会は

会員をはじめ、子供達と夜間、公民館で六～七回盆踊りの練習を重ね本番に臨みます。その盆踊りとは昔から戸坂に伝わる郷土芸能の段物、手踊り（扇子踊り、稲刈り）などです。「段物」とは、浄瑠璃や歌舞伎の語りものことで牛若丸と弁慶や佐倉惣五郎甚兵衛「渡しの場」など変装に工夫をこらし踊ります。ゆったりした太鼓と音頭に合わせ踊る風情は郷愁を感じ、踊った後のこちよい疲労感、安堵感は皆一体となって喜びを確かめ合うのです。

この貴重な戸坂郷土芸能を後世に継承させたいと、小学校と連携し、秋の運動会では高学年と一緒に「扇子踊り」を踊らせてもらっています。子供達が踊りを通して郷土愛にめざめ誇りに思い、人々の心の結びつきができるよう信じ願っています。

戸坂女性会は約三十年前より

公民館を拠点とする、女性会付属の茶道、華道、洋裁、民謡の四教室を持ち（一般入会自由）各教室は順次年一回、会員の為開講し、目的は会員の生活、教養、資質向上、私達の心を癒し豊かにさせてくれます。

また、つくしんぼの会との交流を設け、小物作りを手伝いボランティアに精出し、微力ながら支援協力に努力しています。



さらに、各地区でも地域に即した活動に取り組み、例えば資源ごみの回収、町内清掃、高齢者への支援など広く活動しています。

地域は今、私達に何を求めているのか、女性の力を発揮できればと頑張っています。

まずは戸坂女性会、ふれあいを大切に、心をつなぐことこそ、次のステップの活力につながると思います。